

野球部員のみなさん
野球部保護者様
引率者・チーム責任者様

第16回 オンヨネカップ ～新型コロナウイルス感染防止ガイドライン～

参加者(生徒)が遵守すべき事項

<参加前>

- 「大会参加応諾書・チェックシート」を保護者に記入してもらい、試合のある日ごとにチーム責任者に提出する。
- 大会当日は必ず検温をし、発熱やせき・のどの痛み・倦怠感がある、味覚・嗅覚の異常があるなど、体調不良の場合は参加しない。
- 同居家族や身近な知人に感染の疑いがある場合、参加しない。

<参加中>

- マスクを着用する。ただし、競技中については、個人の判断に任せる。
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。
- 他の参加者との距離を（できるだけ2m以上）確保する。
- 試合中に大きな声で会話、応援等をしない。
- 飲み物やタオル等は自分自身のもののみ使用することとし、チーム内で共用しない。

<参加後>

- ゴミは、会場にあるゴミ箱に捨てず、持ち帰る。
- 自身の体調変化に注視し、体調がすぐれない場合は保護者やチーム責任者に報告、相談する。

保護者・観戦者が遵守すべき事項

<参加前>

- 試合のある日ごとに、参加者(生徒)の「大会参加応諾書・チェックシート」を記入し、参加者(生徒)を通じて各校顧問に提出する。
- 子どもの検温を確認するとともに、発熱やせき・のどの痛み・倦怠感がある、味覚・嗅覚の異常があるなど、体調不良の場合は参加させない。
- 同居家族や身近な知人に感染の疑いがある場合、参加させない。
- 大会当日は必ず検温をし、発熱やせき・のどの痛み・倦怠感がある、味覚・嗅覚の異常があるなど、体調不良の場合、感染拡大地域への2週間以内の往来がある場合は観戦しない。
- 観戦する際は、事前に配付された（もしくは当日会場に設置されている）「来場者名簿（健康チェックシート）」に必要事項を記入する。

<参加中>

- 他の参加者、来場者との距離をできるだけ2m以上確保する。
- マスクを常時着用することを原則とする。ただし、上記が確保されている場合は、熱中症予防を優先し、マスクを外してもよい。
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。
- 観戦中に声を出しての応援をしない。
- 選手との接触を控える。

<参加後>

- ゴミは、会場にあるゴミ箱に捨てず、持ち帰る。
- 参加後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、必ずチーム責任者に報告する。

引率者（顧問）、チーム責任者が遵守すべき事項

<参加前>

- 本ガイドラインを参加者(生徒)と保護者に配布し、遵守徹底をはかる。
- 試合のある日ごとに「大会参加応諾書・チェックシート」を回収し、大会本部（その日の会場主任）に提出する。
- 生徒の体調を把握し、体調不良者は参加させない。
- 手指消毒液は参加校、参加者が準備をし、持参する。

<参加中>

- 試合中だけでなく、試合の合間や控室等でも3密を防ぐように、注意を払う。
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。
- 試合中はマスクを着用し、選手との距離をとりながら指示を出す。

<参加後>

- 会場責任者の指示に従い、会場の消毒作業を行う。消毒作業用具は参加校が準備をする。
- 参加選手や保護者、競技役員等が参加後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに大会事務局へ報告する。

会場責任者・競技責任者が遵守すべき事項

<試合前>

- 本ガイドラインならびにJSBB（全日本軟式野球連盟）感染予防ガイドラインを野球連盟審判員に配布し、競技運営の具体策を確認する。
- 1日ごとに参加チーム責任者から「大会参加応諾書・チェックシート」「来場者名簿（健康チェックシート）」を回収し、大会事務局から指示がある日まで責任をもって管理する。
- 試合会場、控室、観戦場所等において、3密を回避する対策を講じる。
- 競技役員を含め、参加者を把握する。

<試合中>

- 各教育委員会やJSBB（全日本軟式野球連盟）等が示しているガイドラインに従い、競技を行う。
- 試合と試合の間に会場（椅子や机、手すり、扉等）の消毒や用具（ボール、器具等）の消毒を行う。
- 審判への水分の提供は行わない。各自で準備してもらう。

<試合後>

- 参加校のチーム責任者と協力し、会場の消毒作業を行う。
- 参加選手や保護者、競技役員等が参加後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに大会事務局へ報告する。

【本ガイドラインはウイルスの感染拡大状況等によって適宜変更、修正することとする。】